

企画部の「運営方針と目標」（平成 21 年度）

企画部長兼都市再生担当部長 河野 康之
企画部調整担当部長 竹内 富士夫
企画部ユビキタス・コミュニティ推進担当部長 後藤 省二

1 部の使命・目標に関する認識

部の使命・目標

・市民のニーズや社会の変化に対応した計画等の策定により、市のビジョンや運営方針を市民に明らかにするとともに、効率的な市政運営と健全な財政運営を目指した自治体経営の確立を図ります。
・開かれた行政を目指して市政情報の積極的な提供を行うとともに、市民ニーズや市の実勢に関する調査と情報提供を通して市内の効果的な政策形成への支援を図ります。
・ユビキタス・コミュニティの推進に取り組むとともに、市内情報の適切なマネジメントを確立します。

各課の役割

企画部は、企画経営室、財政課、秘書広報課及び情報推進室の4課に、平成21年度から都市再生推進本部事務局を加えて構成され、基本構想・第3次基本計画(第2次改定)に掲げる理念を実現するスタッフ部門として機能するため、①政策立案、②財政(予算・決算)、③行政評価、④行政改革、⑤行政事務の情報化、地域情報政策、⑥秘書・広報、⑦男女平等参画・平和・国際化施策、⑧統計調査、⑨都市再生、⑩全体調整を推進する役割を担っています。

また、個別計画の策定や財政、情報施策、広報などを各部で実施する際の支援業務も行っています。

2 部の経営資源（平成 21 年 4 月 1 日現在）

①職員数

職員数

企画部職員 43 人

職員比率（正規職員）企画部 43 人 / 市職員 1,041 人 職員比率 約 4.1 %

②予算規模

予算規模

平成21年度企画部予算額

一般会計 9,634,412,000 円

そのうち特別会計への繰出金、起債の償還費及び予備費を除く事業費

一般会計 1,311,224,000 円

3 部の実施方針及び個別事業の目標等

実施方針

・経済危機等の「今ある危機」への対処に向けた総合調整の推進
世界的な経済危機等によって不安定かつ深刻な状況が続いていることから、市

民生活から不安を取り除き安定した地域社会を創るために、国や東京都が進める不況対策事業の活用等も図りながら、市民及び市にとって必要とされる事業の推進に向けた総合調整を進めます。

・ 計画後期において市が取り組む戦略課題の推進

第3次基本計画（第2次改定）及び行財政改革アクションプラン2010等に基づき、計画期間の後期において、市が戦略的・重点的に取り組むこととした政策課題の推進を図るとともに、第4次基本計画等の策定に向けた検討を進めます。

・ 自治基本条例の定着と自治の推進

自治基本条例の普及・啓発に取り組むとともに、パブリックコメント制度や市民会議・審議会等の会議の公開の制度など、同条例に基づく自治の仕組みの円滑な運用を図ります。また、自治基本条例と同時に施行された、男女平等参画条例の普及・啓発にもあわせて取り組みます。

・ 都市の更新・再生プロジェクトの推進

都市再生推進本部を中心に、平成21年3月に策定した「都市再生ビジョン」に基づき、老朽化した公共施設の今後の整備のあり方、既存公共施設の整備計画の見直し、市有地の有効活用のほか、市街地再開発事業や住宅・民間建築物における耐震化の促進など、環境保全や経済性にも配慮した都市構造・都市空間の「更新・再生」に向けた着実な取り組みを進めます。

・ 地方分権の推進と創造的自治体経営の確立

自治基本条例で掲げた地方分権の推進を図るために、行財政における適切な政府間関係の確立が図られるよう、交付税不交付団体である基礎自治体の立場から積極的な取り組みを行います。また、行政評価を始めとしたマネジメント・システムの改革を進めるとともに、財政健全化法の施行も踏まえたストックとフローの適切な管理を行うなど、創造的な自治体経営の確立に取り組みます。

・ 三鷹ネットワーク大学事業を核とした民学産公の協働によるまちづくりの推進

NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構との連携の中から、市民、教育・研究機関、事業者及び公共団体等との協働の取り組みを通じて、教育・研究機関等の知的資源を地域社会に提供することにより、多様な人財を育成するとともに、活力があり、豊かで安心できる市民生活を実現します。

・ ユビキタス・コミュニティ推進基本方針に基づく取り組みの展開

情報通信技術の活用による、くらしの豊かさ、便利さ、楽しさを実感できる地域社会の実現を目指して策定された「三鷹市ユビキタス・コミュニティ推進基本方針」に基づき、具体的な事業展開を図ります。

個別事業とその目標（個別事業の掲載は、重点課題順となっています。）

1 都市再生ビジョンの推進（市民センター周辺地区整備に向けた基本プランの策定等）

（都市再生推進本部事務局）（「施政方針」掲載事業）

公共施設の整備・再配置に関する基本方針である「都市再生ビジョン」に基づき、東京多摩青果株式会社が所有する三鷹市場跡地の取得に向けて、市民センター周辺地区整備に関する基本プランを策定します。また、都市再生推進本部を中

心に、庁内の全体調整を図りながら、個別プロジェクトの計画的な事業推進を図っていきます。

(目標指標：市民センター周辺地区における整備基本プランの策定を進めます。)

2 第4次基本計画及び新たな行財政改革推進計画等の策定に向けた準備

(企画経営室) (「施政方針」掲載事業)

第4次基本計画等の策定に向けて、職員検討チームによる長期政策等の研究を行うとともに、三鷹ネットワーク大学との協働により市民参加や計画のあり方に関する調査研究に取り組み、計画策定に向けた方針を定めます。また、新たな行政改革推進計画についても策定に向けて課題の抽出・検討を行い、策定方針を定めます。

(目標指標：第4次基本計画等の策定に向けて、職員検討チームによる長期政策等の研究を行うとともに、三鷹ネットワーク大学との協働により市民参加や計画のあり方に関する調査研究に取り組み、新たな行財政改革推進計画とともに、策定に向けた方針を定めます。)

3 市制施行60周年記念事業に向けた準備

(秘書広報課・企画経営室) (「施政方針」掲載事業)

平成22年度に市制施行60周年を迎えるにあたり、これまでの三鷹市のあゆみについて評価・検証し、今後のまちづくりのあり方を展望する記念事業の実施に向けて、航空写真によるパネル作成等を行うとともに、記念図書の作成に着手するなど準備を進めます。

また、60周年記念事業と一体性やつながりのある事業等をイベントとして実施します。

(目標指標：記念事業の事業計画策定のため、庁内に設置したプロジェクトチームにおいて更に検討を重ねるとともに、円滑な準備の進行を図るための連絡調整を行います。)

4 三鷹市ユビキタス・コミュニティ推進事業の実施

(情報推進室) (「施政方針」掲載事業)

情報通信技術(ICT)を活用し、市民がくらしの豊かさ、便利さ、楽しさを実感できる地域社会の実現を目指した「ユビキタス・コミュニティ推進基本方針」に基づき、「親子安心システム」「地域SNS」などの運用を継続するとともに、ナレッジネットワーク(みたかWiki・みたか教えてネット)のコンテンツの内容充実を図ります。

また、市民のさまざまな疑問や質問に対応できるよう、問い合わせの多い内容を集積・整理し、市民に情報提供を行うFAQシステムの導入を図ります。さらに、市民の利便性向上のため、コンビニエンスストアの多機能端末において、住民基本台帳カードの利用により証明書(住民票の写し及び印鑑証明書)の交付を可能とするシステムの構築に取り組みます。

(目標指標：「FAQシステム」及び「証明書のコンビニエンスストアでの交付」の検討・開発等、三鷹市ユビキタス・コミュニティ推進事業を拡大します。)

5 三鷹ネットワーク大学事業の充実に向けた協働の推進

(企画経営室) (「施政方針」掲載事業)

NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構との協働により、ネットワーク大学のさらなる活用に向けた取り組みを推進します。平成21年度は、まちづくり総合研究所事業として第4次基本計画策定に向けた調査・研究を行うほか、地域

再生計画（科学技術と科学文化を活かしたまちづくり・ひとづくりプロジェクト）の推進等にも取り組みます。

（目標指標：まちづくり総合研究所事業として第4次基本計画策定に向けた調査・研究を行うとともに、地域再生計画を推進します。）

6 「三鷹子ども憲章」の普及・啓発（企画経営室）〈「施政方針」掲載事業〉

子どもたちが健やかに成長するためのまちの目標である「三鷹子ども憲章」の普及・啓発に努めます。教育委員会と連携を密にして小・中学校や地域における憲章に基づく取り組みの集中的な実践や表彰を通じてさらなる浸透を図ります。

（目標指標：小・中学校や地域等において、憲章の普及・啓発に向け重点的に取り組む強化月間（6月・11月）を設定し、優れた取り組みを表彰します。）

7 三鷹の森 科学文化祭（仮称）の開催（企画経営室）〈「施政方針」掲載事業〉

2009年が世界天文年であることを契機に、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構と共催で「三鷹の森 科学文化祭（仮称）」を市制施行60周年記念イベントとして開催します。開催にあたっては、国立天文台をはじめとする三鷹ネットワーク大学に参加している教育・研究機関との連携を図るとともに、三鷹商工会やみたか都市観光協会との協働により取り組みます。また、「三鷹の森 科学文化祭（仮称）」を開催することにより、科学技術への理解増進、科学文化の醸成を図ります。

（目標指標：「天文台のあるまち三鷹」として天文学をメインテーマとした講座やイベント等を実施し、地域で科学を楽しむ文化の醸成に努めます。）

8 リニューアル後のホームページの検証とキッズページの開設

（秘書広報課）〈「施政方針」掲載事業〉

昨年度リニューアルした三鷹市ホームページについて、ウェブ・アクセシビリティをはじめとするユーザー評価及び職員に対するインタビューを行い、サイトの改善点や課題の把握に努めるとともに、これらの結果を職員に解説する研修を実施し、課題の共有及びページ作成の意識醸成を図り、各コンテンツの内容の充実ならびに品質の向上につなげます。

加えて、常に変化する利用者のニーズに応えるため、専門的な分析・知識に基づく助言、支援などを受ける仕組みを構築することにより、サイト全体の品質の維持、向上を図ります。

また、小学3年生程度を対象に、三鷹市や三鷹市に関連する情報を分かりやすく、楽しく紹介するページ（キッズページ）を開設します。

（目標指標：ユーザー評価等の実施によるリニューアル後のホームページを検証し、キッズページの作成及び公開を行います。）

9 出版社との協働による「三鷹の魅力」の全国発信

（秘書広報課）〈「施政方針」掲載事業〉

平成20年度に引き続き、出版社との協働による「三鷹の魅力」を全国に発信する取り組みとして、月刊『東京人』の増刊号を発行し、全国の書店で販売します。今年度の特集は、2009年が世界天文年であることにちなみ、国立天文台を中心として、宇宙や天文学などについて取り上げます。

（目標指標：30,000部発行するとともに、このうち25,000部について出版社の販路を通じ、全国の書店で販売していきます。）

10 基幹系システムの次期構築方針の策定（情報推進室）（「施政方針」掲載事業）

基幹系システムの平成24年4月の更改に向けて、本年度は次期基幹系システムの構築に係る情報収集を行い、構築方針の策定及び調達仕様の検討を行います。構築方針の策定にあたっては、三鷹市ユビキタス・コミュニティ推進基本方針で掲げている電子自治体化や、住民の利便性の向上、他の情報システムとの連携を可能にする地域情報プラットフォームの導入検討、データセンターやASPサービスの活用などを視野に入れながら、環境側面にも配慮した省エネルギー、管理・運営経費の削減を目指したシステムの全体最適化に取り組みます。

（目標指標：平成24年4月の更改に向けて、基幹系システムの見直しを行い、構築方針を策定します。）